

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

I N F O R M A T I O N S H E E T

Applicant: TERADA, Masahiro
 WATANABE, Yoshiaki

Application No.:

Filed: January 31, 2002

For: PARTICULAR-INFORMATION DISPLAYING METHOD AND MENU SERVICE
 METHOD AND SYSTEM

Priority Claimed Under 35 U.S.C. 119 and/or 120:

COUNTRY	DATE	NUMBER
JAPAN	01/31/01	2001-024287
JAPAN	01/31/01	2001-024290

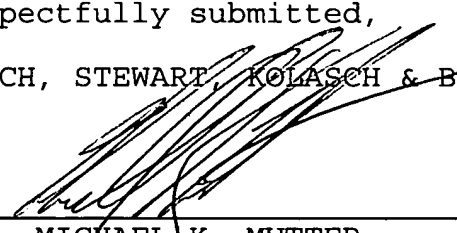
Send Correspondence to: BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP
 P. O. Box 747
 Falls Church, Virginia 22040-0747
 (703) 205-8000

The above information is submitted to advise the USPTO of all relevant facts in connection with the present application. A timely executed Declaration in accordance with 37 CFR 1.64 will follow.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By


MICHAEL K. MUTTER

Reg. No. 29,680

P. O. Box 747

Falls Church, VA 22040-0747

/ka

(703) 205-8000



IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant(s): TERADA, Masahiro et al.

Application No.:

Group:

Filed: January 31, 2002

Examiner:

For: PARTICULAR-INFORMATION DISPLAYING METHOD AND MENU SERVICE
METHOD AND SYSTEM



L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents
Box Patent Application
Washington, D.C. 20231

January 31, 2002
0879-0373P

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2001-024287	01/31/01
JAPAN	2001-024290	01/31/01

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: _____

MICHAEL K. MUTTER
Reg. No. 29,680
P. O. Box 747
Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment
(703) 205-8000
/ka

TERADA, Masahiro et al.
Jan. 31, 2002
BSKB, LLP
(703) 205-8000
0879-0373P
1 of 2

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 1月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-024287

出 願 人

Applicant(s):

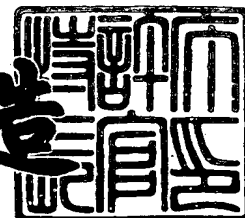
富士写真フイルム株式会社



2001年11月16日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3100856

【書類名】 特許願

【整理番号】 FJ2000-181

【提出日】 平成13年 1月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 9/08

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号
 富士写真フイルム株式会社内

 【氏名】 寺田 昌弘

【特許出願人】

 【識別番号】 000005201

 【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100083116

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 松浦 憲三

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 012678

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9801416

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 特定情報の表示方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者側の通信機器の表示手段に、利用者が画像のプリントサービス、画像又は音声のアップロードサービス等の各種サービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告の画像データを第 1 のサーバから受信して表示する特定情報の表示方法であって、

利用者側の通信機器が、該通信機器の表示手段に特定のサービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告を表示するための特定の識別情報を、第 1 のサーバに対して送信する工程と、

第 1 のサーバが、前記特定の識別情報を利用者側の通信機器から受信すると、該受信した特定の識別情報に対応するサービスボタン又はバナー広告の画像データを利用者側の通信機器に送信する工程と、

前記利用者側の通信機器は、前記第 1 のサーバからサービスボタン又はバナー広告の画像データを受信する工程と、

前記利用者側の通信機器は、表示手段に表示されている画像ビューワ上に前記受信したサービスボタン又はバナー広告の画像データに基づいたサービスボタン又はバナー広告の画像を表示する工程と、

を含むことを特徴とする特定情報の表示方法。

【請求項 2】 前記サービスボタンを利用者が選択すると、該サービスボタンを選択したことを通知するボタン選択情報を前記第 1 のサーバに送信するとともに、該選択したサービスを提供する第 2 のサーバにも前記ボタン選択情報を送信する工程を含むことを特徴とする請求項 1 の特定情報の表示方法。

【請求項 3】 前記特定の識別情報は、前記第 2 のサーバ側から利用者側の通信機器にフロッピーディスク又は C D - R O M 等の記録媒体を介して伝達する工程を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 の特定情報の表示方法。

【請求項 4】 前記特定の識別情報は、前記第 1 のサーバが発行して前記第 2 のサーバに伝達する工程を含むことを特徴とする請求項 1、2 又は 3 の特定情報の表示方法。

【請求項 5】 前記サービスボタン又はバナー広告の画像データは、前記第 2 のサーバが発行して前記第 1 のサーバに伝達する工程を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 に記載の特定情報の表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は特定情報の表示方法に係り、特に通信ネットワークを介して画像又は音声の情報の配信又は印刷物の配送等のサービスを実施する際に、利用者側の通信機器の表示手段に各種サービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告の画像をカスタマイズして表示する特定情報の表示方法に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来から、電子カメラを購入した際に該電子カメラに付属する CD-ROM 等に記録されたソフトウェアを利用者側のパソコンに導入して、インターネット等のネットワーク上に存在するサービスセンター等のサーバと通信接続する通信サービスが知られている。この通信サービスを利用して、電子カメラにて撮像した画像をサービスセンターのサーバに送信して、該画像のプリント注文等のサービスを受けることが可能となっている。

【0003】

このようなサービス注文等に用いる付属のソフトウェアは、汎用的に利用可能なように汎用設計がなされてパッケージングされており、例えば国内のどの店舗で購入した電子カメラであっても同様なサービスを享受することが可能となっている。

【0004】

その反面、電子カメラの販売を取り扱う大手量販店やカメラ店などでは、前記電子カメラに付属するソフトウェアをカスタマイズして、電子カメラを購入した利用者が当該販売店を利用して画像のプリント注文をし易くするようにしたいという要望がある。

【0005】

あるいは、所定のサービスセンター（サービス提供者等）にプリント注文が出される場合でも、自分の店舗の利用者から出た注文に対して所定の利用料金を請求する契約をサービスセンターとの間で行ったり、逆に、自分の店舗の利用者から出た注文は、所定の条件で割引を実施する等の契約を行いたいという要望がある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

一般に、電子カメラ等の電子機器のOEM供給での販売などにおけるソフトウェアのカスタマイズにあたっては、元となるソフトウェアをメーカーが予めカスタム仕様に作り替えてパッケージングすることが行われている。しかしながらメーカーが、多数存在する販売店別に固有のソフトウェアを作成してCD-ROMを成形して製品梱包するのは實際上困難なことである。

【0007】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、電子カメラ等の電子機器に付属する画像ビューワ等のソフトウェアを販売店毎にカスタマイズを実施するにあたって、メーカーの製品パッケージ自体を変更することなく、別媒体から追加情報を組み込むことで画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを容易且つ確実に実施することが可能な特定情報の表示方法を提供することを目的としている。

【0008】

また、本発明は、電子カメラ等の電子機器に付属するソフトウェアを販売店毎にカスタマイズを実施する方法を公知にしても、事前にサービスセンター又は電子カメラのメーカーが承認した販売店だけが前記ソフトウェアをカスタマイズ可能な仕組みとすることによって、事前の契約等なしには画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを実行できないようにする特定情報の表示方法を提供することを目的としている。

【0009】

また、そのしくみを生かして数々の有用なサービスを提供可能にすることを目的としている。

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記目的を達成するために、利用者側の通信機器の表示手段に利用者が画像のプリントサービス、画像又は音声のアップロードサービス等の各種サービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告の画像データを第1のサーバから受信して表示する特定情報の表示方法であって、利用者側の通信機器が該通信機器の表示手段に特定のサービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告を表示するための特定の識別情報を第1のサーバに対して送信する工程と、第1のサーバが前記特定の識別情報を利用者側の通信機器から受信すると該受信した特定の識別情報に対応するサービスボタン又はバナー広告の画像データを利用者側の通信機器に送信する工程と、前記利用者側の通信機器は前記第1のサーバからサービスボタン又はバナー広告の画像データを受信する工程と、前記利用者側の通信機器は表示手段に表示されている画像ビューワ上に前記受信したサービスボタン又はバナー広告の画像データに基づいたサービスボタン又はバナー広告の画像を表示する工程とを含むことを特徴としている。

【 0 0 1 1 】

本発明によれば、利用者側の通信機器が特定の識別情報を第1のサーバに対して送信する工程と、第1のサーバが前記受信した特定の識別情報に対応するサービスボタン又はバナー広告の画像を利用者側の通信機器に送信する工程と、利用者側の通信機器が前記画像データを受信する工程と、利用者側の通信機器が表示手段に表示されている画像ビューワ上に前記受信したサービスボタン又はバナー広告の画像を表示する工程とを含むようにしたので、画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを容易に且つ確実に実施することが可能となる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下添付図面に従って、本発明に係る特定情報の表示方法の好ましい実施の形態について詳説する。

【 0 0 1 3 】

図1は、利用者が画像等の情報をサーバに転送する際に用いるサービスシステ

ムの構成及び接続形態を示す図である。

【0014】

同図によればサービスシステムには、カメラ等の電子機器固有の識別情報、利用者が設定するユーザー設定情報及び撮像した画像又は集音した音声を記録可能であるとともに、これら記録している情報を他の通信機器に対して送信することが可能な通信手段を備えた電子機器の一形態である電子カメラ10と、電子カメラ10の通信手段と通信接続するとともに電子カメラ10に電源を供給することが可能な中継機器であるクレードル12と、USB (Universal Serial Busの通信規格に基づいた通信手段) 等の通信手段14を介してクレードル12と画像等の情報の送受信を行うことが可能であるとともに通信ネットワークを介してサーバやサービスセンターと画像等の情報の送受信を行うことが可能な通信手段を備えた利用者側の通信機器であるパソコン16と、インターネット18等の通信ネットワークを介して画像や音声等の情報の送受信を行うことが可能なサーバ等のサービスセンター20とから構成されている。

【0015】

このようにサービスシステムを構成することによって、電子カメラ10はパソコン16を介してサービスセンター20と画像等の情報の送受信することが可能となる。なお、クレードル12は、電源供給コネクタとパソコン16のインターフェースコネクタを1つ上位のコネクタに置き換えて、利用者の操作を簡易化するものである。

【0016】

なお、電子カメラ10には被写体を撮像する撮像手段と、画像及び音声を記録する記録手段と、他の通信機器と情報の送受信を行う通信手段とが備えられている。また、パソコン16 (利用者側の通信機器) には、電子カメラ10に付属しているCD-ROM等に記録されている通信用のソフトウェアを読み取って該読み取ったソフトウェアに基づいた処理を実行する手段と、電子カメラ10と情報の送受信を行う通信手段と、インターネット18等の通信ネットワークに対して画像データ、特定の識別情報等の情報の送受信を行うことが可能な通信手段と、利用者に対して各々の画像及び音声の識別情報を表示するとともに各サービスセ

ンター 20 等が提供するサービスメニュー、バナー広告等の情報を表示する表示手段と、表示されている画像又は音声の識別情報の中から利用者がサービスを希望する画像又は音声を選択する選択手段と、表示されているサービスメニュー等の情報の中から利用者所望のサービスを選択する選択手段（サービスボタン、販売店サービスボタン等）と、各種実行プログラムや情報を記録する記録手段とが備えられている。

【0017】

また、サービスセンター 20 等のサーバには、インターネット 18 等の通信ネットワークに対して各種情報の送受信を実施する通信手段と、電子カメラ 10 固有の識別情報と関連付けてユーザー設定情報、利用情報、利用者に提供するサービスメニュー情報、パスワード及び、電子カメラ 10 の利用者が支払う利用料金の支払い方法、サービスボタン又はバナー広告の画像データ、該画像データと関連付けて記録している特定の識別情報等の情報を記録する記録手段と、電子カメラ 10 固有又は特定の識別情報に基づいて前記各種情報を選出する選出手段と、パスワードを照合してサービスの提供を許可又は不許可にする照合手段と、利用者が所有する電子カメラ 10 固有の識別情報と該利用者が支払う利用料金の支払い方法とが関連付けて記録された支払情報記録手段と、電子カメラ 10 固有の識別情報に基づいて支払情報記録手段から利用料金の支払い方法を選出する支払情報選出手段と、選出した利用料金の支払い方法にしたがって前記利用者に提供するサービスの利用料金を受領する料金受領手段と、利用者のサービス利用情報に基づいて利用者に提供する複数のサービスの表示優先順位を決定する決定手段とが備えられている。

【0018】

図 2 に、電子カメラとサービスセンターとが送受信する情報の流れの形態を示す。

【0019】

同図によれば、電子カメラ 10 からは撮影画像データ及びその付帯情報と、電子カメラ 10 の製造番号又は ID 等の機器固有の識別情報と、一人の利用者がカスタマイズ可能な住所やクレジットカード番号等のユーザー設定情報とが通信手

段14を介してパソコン16に送信することが可能となっている。

【0020】

なお、電子カメラ10に付属するCD-ROM等の記録媒体をパソコン16に装着すると、パソコン16は該記録媒体に記録されている画像ビューワ及び通信に関するソフトウェアを読み出して、該読み出した画像ビューワ等のソフトウェアを起動可能な状態に設定することが可能となる。

【0021】

電子カメラ10をクレードル12に挿すことによって、パソコン16側はUSB等の通信手段を介して電子カメラ10の接続を自動検出(Plug&Play機能を用いる)して、その電子カメラ10内の画像を一覧表示するアプリケーションソフトウェアである画像ビューワを自動で起動する。例えば電子カメラ10の接続を自動検出する機能は、パソコン16のシステムプログラム起動時又は起動後に電子カメラ10の接続を自動検出するデバイスドライバを組み込んでおき、通信システムのPlug&Playイベントを監視する。デバイスドライバが電子カメラ10の接続を認識すると、電子カメラ10の処理モードに応じて必要な画像ビューワ等の処理プログラムを起動する。

【0022】

図3に、パソコンの表示手段に表示される画像ビューワの表示画面を示す。

【0023】

この画像ビューワが表示する表示画面22(パソコン16の表示手段)内には、例えば電子カメラ10の記録媒体に記録されている撮影画像データ及び付帯情報の識別情報、パソコン16のデータベースに記録されている保存画像データ及び付帯情報のフォルダ名とファイル名の識別情報とが記載されているファイルリスト24と、利用者が閲覧を指示したフォルダ内に記録されている各画像の縮小画像(サムネイル画像による識別情報)26の一覧表示と、各種のサービスをメニュー表示するとともに各種サービスを実施しているサービスセンター20へ接続することを指示する各種の指示ボタン28(選択手段)と、電子カメラ10を販売した販売店が提供する例えばプリントサービスの享受を指示する販売店サービスボタン29と、利用者が入力設定したユーザー設定情報を確認又は修正する

ことが可能なユーザー設定情報ボタン30と、バナー広告（図示せず）が同時に表示されている。

【0024】

また、閲覧を指示したフォルダに記録されている情報が音声情報のみである場合には、音声に関するミュージックサイトなどのサービスセンター20のサービスメニューのみを表示し、また、記録されている情報が画像情報のみである場合又は電子カメラ10に音声の再生機能が無い場合（受信したカメラ固有の識別情報に関連付けてサービスセンター20のサーバに記録されている電子カメラ10の情報に基づいてメニューを選出してパソコン16に送信して表示する）には画像に関するサービスセンター20のサービスメニューのみを表示して、不要な情報は表示せずに利用者の選択肢を少なくして利用し易くしておく。

【0025】

利用者は、表示されているファイル名又は縮小画像26の一覧から所望の1乃至複数の画像をマウス又はキーボードに代表される入力手段（選択手段）を用いて選択して、各種のサービスセンター20への接続及び送信を指示する指示ボタン28（例えばプリントサービスを実施する販売店サービスボタン29、写真公開ボタン、フォトコンテスト投稿ボタン、その他のサービスボタンなどのサービス選択手段）を押すだけで、所望の画像のプリントサービス情報の送信やインターネット上での写真公開サービス及びフォトコンテスト投稿のための画像ファイルや音声ファイルのアップロードが可能となる。

【0026】

上記のようにして選択した画像及び音声とサービスセンター20で実施を希望するサービスに関する情報は、画像ビューワのアプリケーションプログラム内でリンクされて、指示ボタン28又は販売店サービスボタン29で指示されたサービスセンター20又は後述する「BG Service」のサービスセンター38に対して送信される。パソコン16とインターネット等のプロバイダとが電話の公衆回線を介して接続されている場合には、利用者によって画像及び音声とサービスセンター20又は38とが選択されて指示されると、パソコン16はダイヤルアップを実施してインターネット等のプロバイダと通信を開始する。そして接続先のサ

ービスセンター２０のＩＰアドレス又はドメイン名に関する情報と、パソコン１６に割り当てられたＩＰアドレス又はドメイン名に関する情報と、希望するサービス情報と、選択した画像及び音声のデータと、電子カメラ１０固有の識別情報とを送信する。

【００２７】

サービスセンター２０では、送信元のパソコン１６のＩＰアドレス又はドメイン名と、サービス情報と画像及び音声のデータと、電子カメラ１０固有の識別情報とを受信して、受信したサービス情報に基づいた所定の操作画面の情報を（電子カメラ１０の機器固有の識別情報に対応する最適なサービスメニューの情報、電子カメラ１０の機器固有の識別情報と現在までのサービスセンター２０又はサーバサイトの利用情報とに関連付けて記録されている最適なサービスメニューの情報及び、サービスセンター２０のトップページより階層の深い位置に存在するホームページのサービスメニューの情報を直接）パソコン１６側に送信する。

【００２８】

利用者が画像のプリントサービスを指示した場合等、商品の配送先の情報及び料金の支払い情報をサービスセンター２０又は３８側で必要とする際には、パソコン１６はクレードル１２に挿している電子カメラ１０の機器固有情報（電子カメラ１０の製造シリアル番号やＩＤ等の固有情報）を受信するとともにサービスセンター２０又３８に自動で送信する。

【００２９】

また、利用者が電子カメラ１０を購入した際に電子カメラ１０の利用者の氏名情報、住所情報、利用者に商品を配送する際の宛て先情報、利用者側の画像若しくは音声の配信先情報、利用者が支払う料金の出資元に関する情報、利用者特定するパスワード情報、利用者の性別情報、利用者の生年月日情報、利用者の年齢情報等のユーザー設定情報を電子カメラ１０に登録しておくことによって、購入した電子カメラ１０固有の製造シリアル番号とともにサービスセンター２０又は３８に予めユーザー登録時などに送信するようにしておく。これら双方の情報を関連付けてサービスセンター２０で管理しておき、画像情報と電子カメラ１０固有の識別情報とを受信するとサービスセンター２０側では電子カメラ１０の固

有識別情報から関連付けて記録されいてる上記利用者の住所情報、氏名情報…等の利用者情報を読み出して商品の配送先及び料金の支払いに利用してもよい。この場合電子カメラ10は認証デバイスとして利用されている。

【0030】

また、電子カメラ10を購入した利用者以外の者が電子カメラ10を操作して各種サービスを受けた場合に、各種サービスの利用料金が実際には各種サービスを受けていない電子カメラ10の購入者に請求されるといった不具合を回避するために、各種サービスにおいて利用費用が生じる場合には利用者を識別する認証用のパスワードをサービスセンター20側が問い合わせる仕組みを取り入れてもよい。その場合にサービスセンター20は、利用者が所有する電子カメラ10固有の識別情報及び利用者に関するパスワードを含むユーザー設定情報を予め受信して関連付けて記録手段に記録する。

【0-0-3-1】

次に、利用者側から電子カメラ10固有の識別情報と利用者が今回入力したパスワードを受信すると、記録手段に予め電子カメラ10固有の識別情報と関連付けて記録されているパスワードを読み出して利用者が今回入力したパスワードとを照合手段が照合する。そして該照合の結果、記録手段に予め記録されているパスワードと利用者が今回入力したパスワードとが同じであると判断した場合には、利用者側から指示された画像若しくは音声の配信又は、利用者側から指示された印刷物の配送の処理等のサービスの提供を許可して実施する。商品の配送先の住所の情報は、受信した電子カメラ10固有の識別情報と関連付けて予め記録手段に記録されているユーザー設定情報の中に含まれている配送先の住所の情報を利用する。また、サービスセンター20が提供する各種サービスの利用料金の支払い方法がユーザー設定情報に含まれている場合（支払情報記録手段に記録されている場合）には、電子カメラ10固有の識別情報に関連付けて記録されているユーザー設定情報に記載されている利用料金の支払い方法を支払情報選出手段が選出して、この利用料金の支払い方法及びパスワードの照合結果に基づいてサービスセンター20の料金受領手段は利用料金を受領する。

【0032】

サービスセンター 20 がパソコン 16 側に送信して通知する操作画面の情報は、デフォルトの汎用操作画面の形態であってもよいし、利用者の利用頻度や利用履歴等の利用情報に基づいて操作画面の内容を変更してもよい。操作画面を変更するには、電子カメラ 10 からパソコン 16 を介して受信した電子カメラ 10 固有の識別情報と関連付けて利用者が該サービスセンター 20 を利用した利用頻度又は利用内容に関する利用情報を順次記録手段に記録しておき、利用者側から電子カメラ 10 固有の識別情報を受信すると今回の利用情報と記憶手段に記憶している利用頻度又は利用内容に関する利用情報とに基づいて記録手段に記録されている複数種類のサービスセンター 20 の利用情報の中から個々の利用者に有用な情報を選択、又はカスタマイズした最新の操作画面を通知するようにしてもよい。また、電子カメラ 10 の識別情報と関連付けて記録されている利用情報に基づいて利用頻度の高いサービスセンター 20 の情報を優先して表示するように表示の優先順位を入れ換えてもよいし、利用頻度の高いサービスセンター 20 又は電子カメラ 10 を購入した販売店サービスボタン 29 を利用者が選択し易い位置に優先して表示するようにしてもよい。

【0033】

このように、利用者固有の利用履歴情報と、電子カメラ 10 固有の情報とを関連付けて記録しておくことによって、例えば利用者 A の所有する電子カメラ a と利用者 B が所有する電子カメラ b とが同一のパソコン 16 を利用して同じ画像サービスセンター 20 等を利用した場合であっても、利用者 A に対しては利用者 A に適した操作画面や広告情報をカメラ a 固有の識別情報に基づいて提供し、利用者 B に対しては利用者 B に適した操作画面や広告情報をカメラ b の識別情報に基づいて提供するというように、それぞれ異なる操作画面を表示することが可能となるので、利用者に応じたきめ細かなサービスを提供することが可能となる。

【0034】

また、パソコン 16 上で動作する画像ビューワの表示も電子カメラ 10 固有の情報を取得して、画像サービスセンター 20 又は販売店のサーバ (BG Server のサービスセンター 38) に電子カメラ 10 固有の情報を送信して問い合わせ、画像サービスセンター 20 又は 38 は電子カメラ 10 固有の情報とを関連付けて記

録されている利用者固有の利用履歴情報に基づいてサービスメニューの表示の情報をパソコン16に送信して、画像ビューワは受信した表示の情報に基づいてサービスメニューの表示を行うようにしてもよい。

【0035】

また、電子カメラ10のアフターサービスを実施するサービスセンター20又は38に対して、利用者側から電子カメラ10固有の識別情報並びに電子カメラ10のステータス情報及び電子カメラ10の利用に関する履歴情報を送信し、サービスセンター20又は38では受信した電子カメラ10固有の識別情報と関連付けて記録されている電子カメラ10の動作プログラムの更新情報等のアフターサービス情報並びに、電子カメラ10のステータス情報及び電子カメラ10の利用に関する履歴情報に基づいて関連付けて記録されている電子カメラ10の動作プログラムの更新情報等のカメラのアフターサービス情報を、パソコン16を介して電子カメラ10に送信するようにしてもよい。

【0036】

このようにサービスセンター側はオンラインで電子カメラ10と通信を行うことによって、販売店や修理店に電子カメラ10を搬入することなく容易かつ的確に不具合状況をサービスセンター20又は38側は認知することが可能であるとともに、的確な修繕判断を下して修繕を実施することが可能となる。

【0037】

また、修繕等のカスタマーサービス利用料金の支払いに関しては、受信した電子カメラ10の固有の識別情報と関連付けて記録手段に記録されているユーザー設定情報に含まれる当該サービスセンター20又は38への利用料金の支払い方法の情報のしちがって利用料金を利用者から受領するようにしてもよい。

【0038】

電子カメラ10の販売後に、撮影や表示等を制御する動作処理プログラムが更新されて新しいプログラムに変更された場合などにおいても、例えばサービスセンター20又は38に対して電子カメラ10固有の識別情報を送信することによって、サービスセンター20又は38は電子カメラ10固有の識別情報と関連付けて記録している電子カメラ10の機種や、これまでのカスタマーサービスの利

用情報をデータベース等の記録手段から読み出して、適切な動作処理プログラムを電子カメラ10に送信して動作処理プログラムのアップデートを実行することが可能となる。また、電子カメラ10が故障して不調である場合等においても、サービスセンター20又は38は電子カメラ10固有の識別情報と関連付けて記録されている情報を読み出して適切な故障時の診断及び処置を実施することが可能となる。

【0039】

図4に、利用者が入力したユーザー設定情報と電子カメラ10固有の識別情報とを送信するサービスシステムの構成を示す。

【0040】

同図に示されるように、利用者所有の電子カメラ10からは機器固有のシリアル番号等の識別情報とがパソコン16に送信される。また、利用者はパソコン16に対してユーザー設定情報を入力する。電子カメラ10固有の識別情報とユーザー設定情報とはパソコン16からインターネット18等の通信ネットワークを介して「FG Server」のサービスセンター20に対して送信される。「FG Server」では、サービスプロバイダーから各種サービスに関するサービスメニュー情報及び自社サービスの情報を受信して、前記ユーザー設定情報と電子カメラ10固有の識別情報とメニューデータとをお互いに関連付けて記録している。

【0041】

また、サービスプロバイダーは各「BG Service」のサービスセンター38に対して各種サービスを組み込む作業を行ってもよい。販売店を含む各「BG Service」のサービスセンター38は、利用者に対してプリントの配送処理や、画像又は音声の配信処理を実施する。

【0042】

図5に、本発明に関するサービスシステムの運用例を示す。

【0043】

同図によれば、利用者所有の電子カメラ10を通信手段14に接続すると、パソコン16上では画像ビューワのプログラムが自動で起動するとともに、インターネット18等の通信ネットワークとの接続を開始する。パソコン16からはイ

ンターネット 1 8 を介して「FG Server」に電子カメラ 1 0 固有の識別情報が送信される。「FG Server」は受信した電子カメラ 1 0 固有の識別情報と関連付けて記録されている適切なサービスに関するサービスメニュー情報を選出して、パソコン 1 6 に対して送信する。

【 0 0 4 4 】

画像ビューワ上にサービスメニュー等の情報が表示されると、利用者は所望の画像又は音声と、所望のサービスとを選択して指示する。このようにして選択されたサービスの注文詳細情報と電子カメラ 1 0 固有の識別情報とは、インターネット 1 8 を介して「BG Service」のサービスセンター 3 8 に送信される。「BG Service」のサービスセンター 3 8 では、受信した電子カメラ 1 0 固有の識別情報を「FG Server」のサービスセンター 2 0 に送信して、ユーザー設定情報の送信を要求する。「FG Server」では、電子カメラ 1 0 固有の識別情報を受信し、関連付けて記録されている物品を配送する利用者の住所等のユーザー設定情報を「BG Service」に送信する。

【 0 0 4 5 】

ユーザー設定情報を受信した「BG Service」は、配送のサービスセンター 4 0 等に受信したユーザー設定情報と例えばプリントする画像のデータとプリントサービスの詳細情報とを送信する。前記情報を受信した配送のサービスセンター 4 0 は、詳細注文情報に従って商品のプリントを実施して、ユーザー設定情報に記載されている配送先（利用者宅 4 2）に配送する。

【 0 0 4 6 】

図 6 に、本発明に係る特定情報の表示方法における情報伝達の一例を示す。

【 0 0 4 7 】

同図に示すように、利用者のパソコン 1 6 と、「FG Server」等のサービスセンター 2 0（第 1 のサーバ）と、販売店等のサービスセンター 3 8（第 2 のサーバ）とはインターネット 1 8 等の通信手段で接続されており、相互に情報の送受信が可能な状態になっている。

【 0 0 4 8 】

先ず画像ビューワの表示にて、サービスセンター 3 8 が提供するサービスの享

受を指示するための販売店サービスボタン29を表示させるまでの過程について説明する。

【0049】

販売店等のサービスセンター38は、図3に示した画像ビューワを表示する利用者のパソコン16の表示画面22上に、該販売店のサービスセンターに対してリンクする販売店サービスボタン29又はバナー広告を表示してもらうために、サービスセンター20「FG Server」と販売店サービスボタン29の表示に関する契約を行う。

【0050】

この契約に関して相互のサービスセンター間で合意が得られた場合には、サービスセンター20はサービスセンター38に対して、販売店サービスボタン29又はバナー広告等の図柄のデータを、利用者側のパソコン16の表示画面22に表示するためのボタン識別情報（特定の識別情報）を送信又は伝送する（図6中の①）。更に、必要に応じて前記販売店サービスボタン29等をサービスセンター20の記憶手段（ハードディスク等）に記憶する際の記憶容量（記憶領域）等の情報をサービスセンター38に対して通知するようにしてもよい。

【0051】

次にサービスセンター38は、表示する販売店サービスボタン29又はバナー広告の図柄のデータ（記憶容量の指定がある場合には、予め定められている所定の容量以内の図柄データ）を、サービスセンター20に対して送信又は伝送する（図6中の②）。

【0052】

このとき契約に基づいて、販売店サービスボタン29の掲載料金をサービスセンター20がサービスセンター38に対して請求してもよいし、実際に利用者がサービスセンター38に於けるサービスを受けた際にのみサービスセンター38に利用料金を請求するようにしてもよいし、全く請求しなくともよい。

【0053】

次にサービスセンター38は、前記ボタン識別情報を記録したフロッピーディスク、CD-ROM等の記録媒体を、販売する電子カメラ10等の製品に付属さ

せて利用者に渡して伝送する（図6中③）。また、該ボタン識別情報を記載した案内用紙又はシール等を製品に添付して利用者に渡して伝送するようにしてもよい。

【0054】

ここで、販売店サービスボタン29の図柄等を記録媒体に記録して利用者に渡してしまうと、サービスセンター38、サービスセンター20以外の第三者が不正に図柄のデータを作成して、画像ビューワの指示ボタン28等に割り当てることが可能となってしまうが、本発明によれば、ここではボタン識別情報のみを利用者に渡すので、サービスセンター20と契約を結んだ者のみが、画像ビューワに対して指示ボタン28を表示することが可能となる。

【0055】

次に利用者は、前記付属しているフロッピーディスク、CD-ROM等の記録媒体を利用者のパソコン16に装着して、記録されているボタン識別情報を読み取り、該ボタン識別情報を画像ビューワが管理する所定の記憶領域に記憶する処理を行う。また、該ボタン識別情報を記載した案内用紙又はシール等が製品に添付されていた場合には、利用者がキーボード、バーコードリーダー等の入力手段を介してパソコン16に入力し、画像ビューワが管理する所定の記憶領域に対して入力する処理を行う。

【0056】

該ボタン識別情報が所定の領域に記憶されたパソコン16にて、画像ビューワのソフトウェアが起動すると、画像ビューワのソフトウェア自身が管理する所定の記憶領域を調べて、1乃至複数のボタン識別情報が記憶されているか否かの判断を行う。もし、ボタン識別情報が記憶されていない場合には、デフォルト又は前回と同様の指示ボタン28等の表示を行う。

【0057】

また、もしボタン識別情報が記憶されている場合には、サービスセンター20と通信の接続を開始した際に、該記憶されているボタン識別情報をサービスセンター20に対して送信する（図6中④）。この時点では、画像ビューワのソフトウェアは図3に示すような表示を行うが、まだサービスセンター38に関する販

売店サービスボタン29の図柄の情報は得ていないので、他のデフォルト等の指示ボタン28等が表示されている。

【0058】

該ボタン識別情報を受信したサービスセンター20（メニュー管理サーバ）は、利用者のパソコン16に対して、前記サービスセンター38から入手した契約による販売店サービスボタン29等の図柄のデータを送信する（図6中⑤）。なお、この時送信する図柄データは、前記パソコン16から受信したボタン識別情報に対応した図柄データである。

【0059】

該販売店サービスボタン29等の図柄データを受信したパソコン16の画像ビューワのソフトウェアは、該受信した図柄データを所定の場所に挿入して表示し、表示画面のカスタマイズを実施する。なお、図柄データを挿入する場所に関する情報は、前記図柄データとともにサービスセンター20から受信してもよいし、画像ビューワのソフトウェアが予め持ってもよい。該カスタマイズしたメニューを表示したら、ボタン識別情報が記憶されている記憶領域に正式な識別番号であることを示す印を付けて記憶しておく。

【0060】

図7に、画像ビューワに表示されている初期状態での指示ボタン28の配列を示す。

【0061】

また、図8には、カスタマイズ後の画像ビューワに表示されている指示ボタン28の配列を示す。同図に示すように、カスタマイズ後の画像ビューワには、追加挿入された販売店サービスボタン29A及び29Bが表示されている。

【0062】

図7及び図8に示すように、サービスセンター38から取得したボタン識別情報に基づいてサービスセンター20から取得した販売店サービスボタン29A、29B等を追加することによって、不正を防止しつつ確実に画像ビューワの指示ボタン28をカスタマイズすることが可能となる。

【0063】

次に、利用者が販売店サービスボタン29を操作して、サービスセンター38のサービスを享受する際の過程について説明する。

【0064】

利用者がサービスを受ける画像等を選択し、更に販売店サービスボタン29をクリックするなどして操作し、画像のプリント等のサービスを享受することを指示する。すると図6に示すように、利用者が選択した画像等の情報と選択した販売店サービスボタン29のボタン選択情報とは、サービスセンター38に送信されるとともに、該ボタン選択情報はサービスセンター20に対しても送信される(図6中⑥)。

【0065】

このとき、前記ボタン選択情報とともに、画像ビューワソフトウェア自身を識別する識別情報や、サービスセンター20に登録されている利用者自身の利用者情報とを併せてサービスセンター38に送信するようにしてもよい。なお、当該選択された販売店サービスボタン29が、カスタマイズによって追加されたボタンでない場合には、画像ビューワソフトウェア自身を識別する識別情報やサービスセンター20に登録されている利用者自身の利用者情報をサービスセンター38に送信しなくてもよい。またこのとき、サービスセンター20に対してボタン選択情報を送信しなくてもよい。

【0066】

なお、画像ビューワのソフトウェアがサービスセンター20と通信を実施する際に、ボタン識別情報が記憶されている記憶領域に正式な識別番号であることを示す印が付けられている場合には、その旨をサービスセンター20に通知することによって、サービスセンター20側では、該利用者が正式にカスタマイズされた画像ビューワのソフトウェアを持つ者であることを識別可能にしてもよい。

【0067】

そして、利用者がサービスセンター20に対して画像等のサービスを注文した際に、サービスセンター20が、該利用者がサービスセンター38のボタン識別情報によって正式にカスタマイズされた画像ビューワのソフトウェアを持つ者であることを識別することによって、特別の利用料金で画像等のサービスを提供す

るなどの処理をサービスセンター 38 に通知して行うことが可能となる（図 6 中 ⑦）。

【0068】

また、サービスセンター 20 は、1 乃至複数の利用者の利用度を集計することによって、サービスセンター 38 に対してサービスメニューの利用料を請求する等のビジネス処理が可能となる。

【0069】

また、前記画像ビューワが管理するボタン識別情報を記憶する領域等に付帯情報を記憶しておき、画像ビューワは当該ボタン識別情報が示すところのサービスセンター 38 に通信接続する際に、その記憶されている付帯情報をサービスセンター 38 に送信することが可能となる。サービスセンター 38 が該付帯情報を 1 乃至複数の利用者から受信することによって、付帯情報の異なる複数のカスタマイズされた画像ビューワのソフトウェアを利用者種別に応じて提供すれば、1 つのサーバで複数の利用者種別を判断して処理することが可能となる。

【0070】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る特定情報の表示方法によれば、利用者側の通信機器が特定の識別情報を第 1 のサーバに対して送信する工程と、第 1 のサーバが前記受信した特定の識別情報に対応するサービスボタン又はバナー広告の画像を利用者側の通信機器に送信する工程と、利用者側の通信機器が前記画像データを受信する工程と、利用者側の通信機器が表示手段に表示されている画像ビューワ上に前記受信したサービスボタン又はバナー広告の画像を表示する工程とを含むようにしたので、画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを容易に且つ確実に実施することが可能となる。

【0071】

また、事前の契約等なしには、画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを実行できないようにすることが可能となる。

【0072】

また、そのしくみを生かして数々の有用なサービスを提供することが可能とな

る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

利用者が画像をサーバに転送する際に用いるサービスシステムの構成及び接続形態を示す図

【図 2】

電子カメラとサービスセンターとが送受信する情報の流れの形態を示す図

【図 3】

パソコンの表示手段に表示される画像ビューワの表示画面を示す図

【図 4】

利用者が入力したユーザー設定情報と電子カメラ固有の識別情報とを送信するサービスシステムの構成を示す図

【図 5】

本発明に関するサービスシステムの運用例を示す図

【図 6】

本発明に係る特定情報の表示方法における情報伝達の一例を示す図

【図 7】

画像ビューワに表示されている初期状態での指示ボタンの配列を示す図

【図 8】

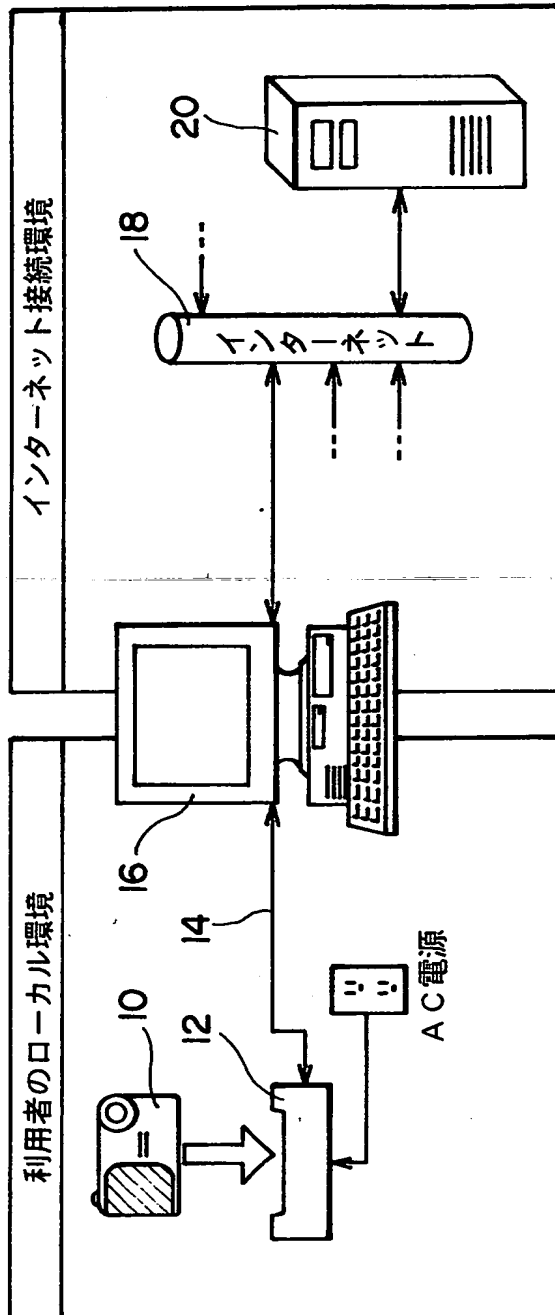
カスタマイズ後の画像ビューワに表示されている指示ボタンの配列を示す図

【符号の説明】

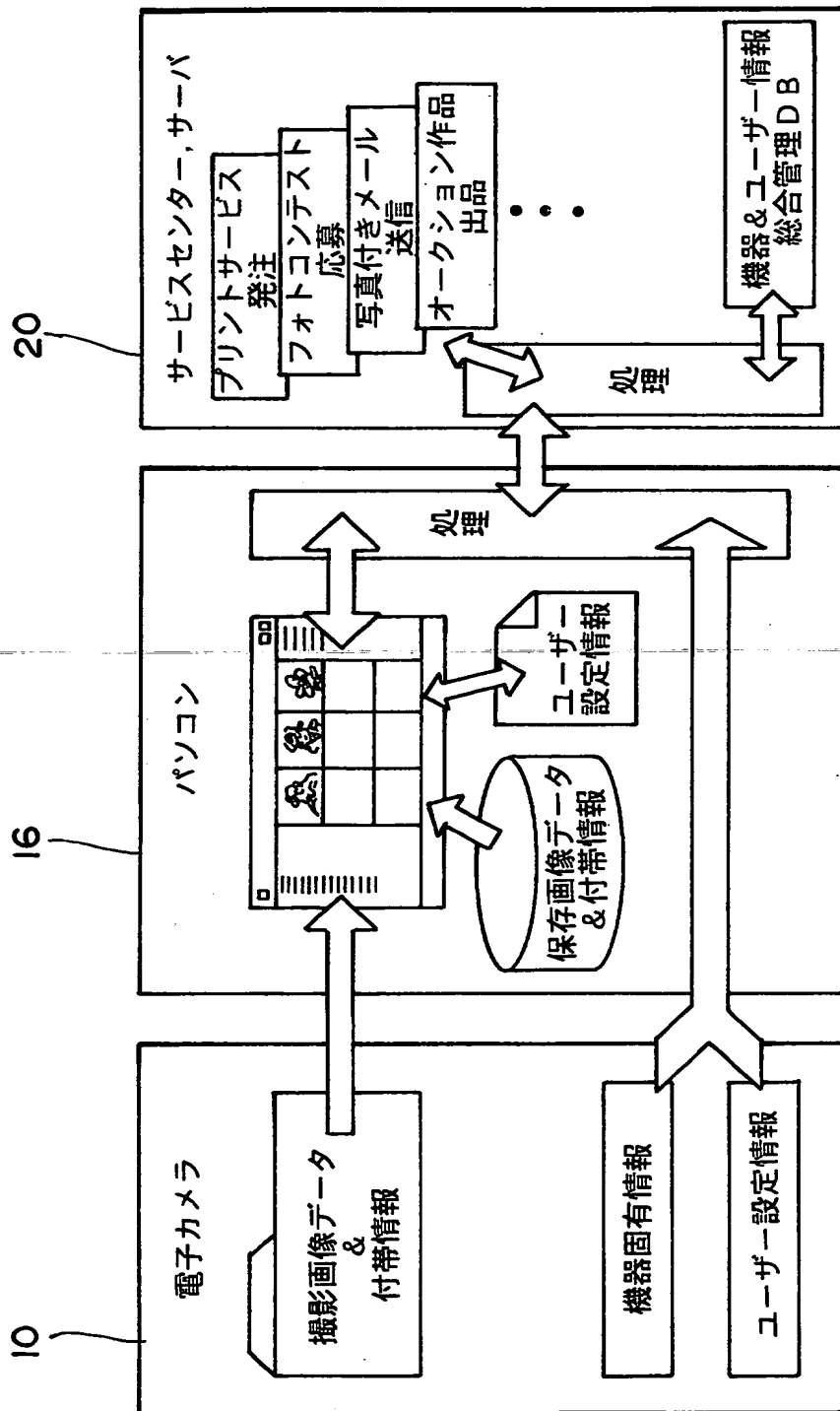
10…電子カメラ、12…クレードル、14…通信手段、16…パソコン、18…インターネット、20…サービスセンター、22…表示画面、24…ファイルリスト、26…縮小画像、28…指示ボタン、29…販売店サービスボタン、30…ユーザー設定情報ボタン、38…サービスセンター、40…配送のサービスセンター、42…利用者宅

【書類名】 図面

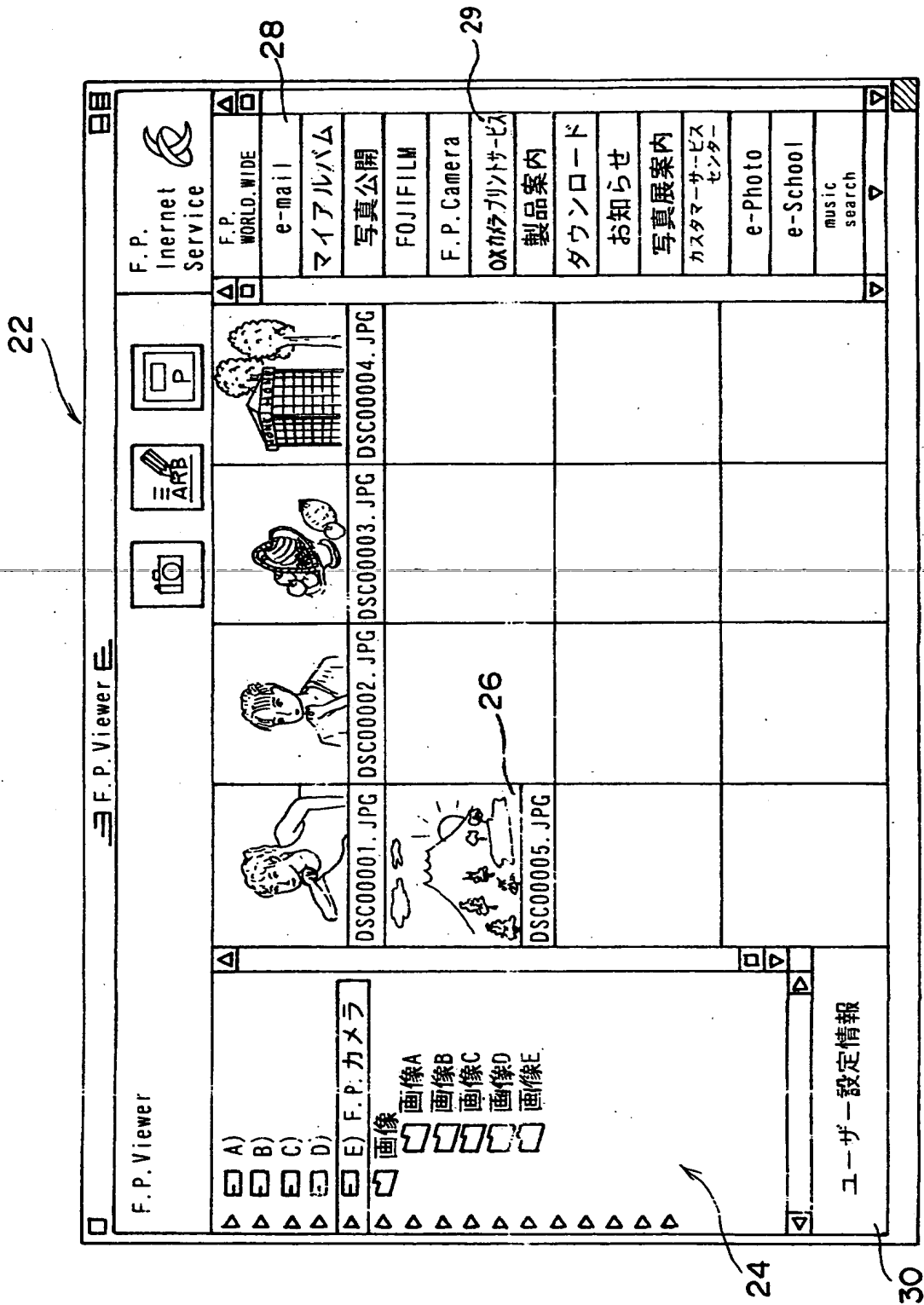
【図 1】



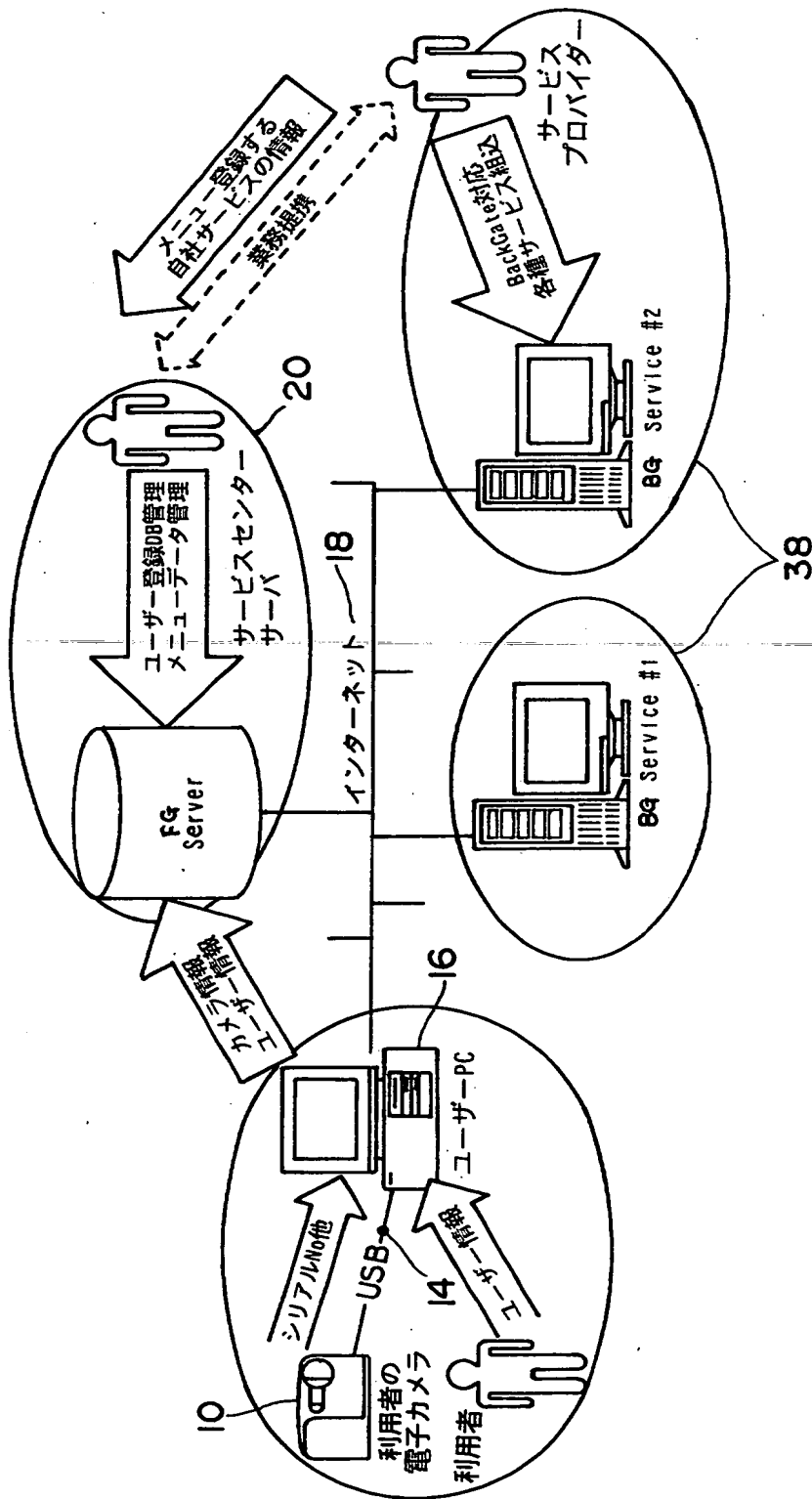
【図 2】



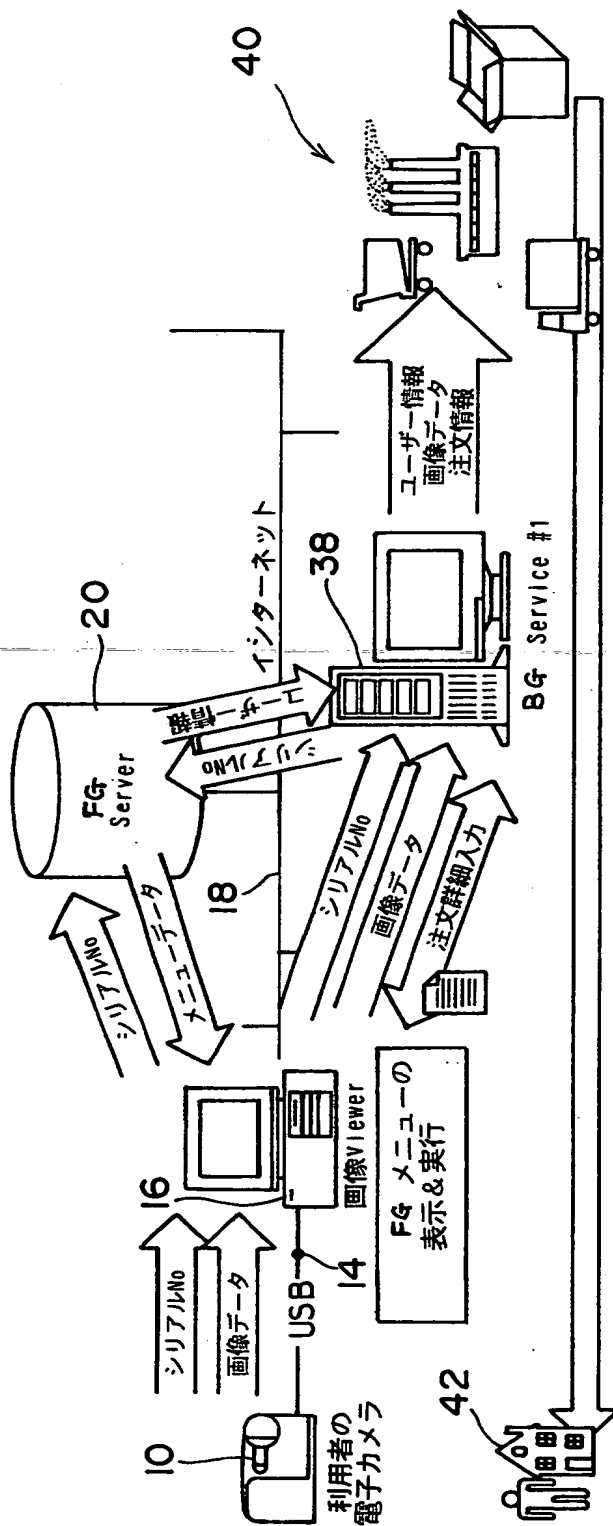
【図 3】



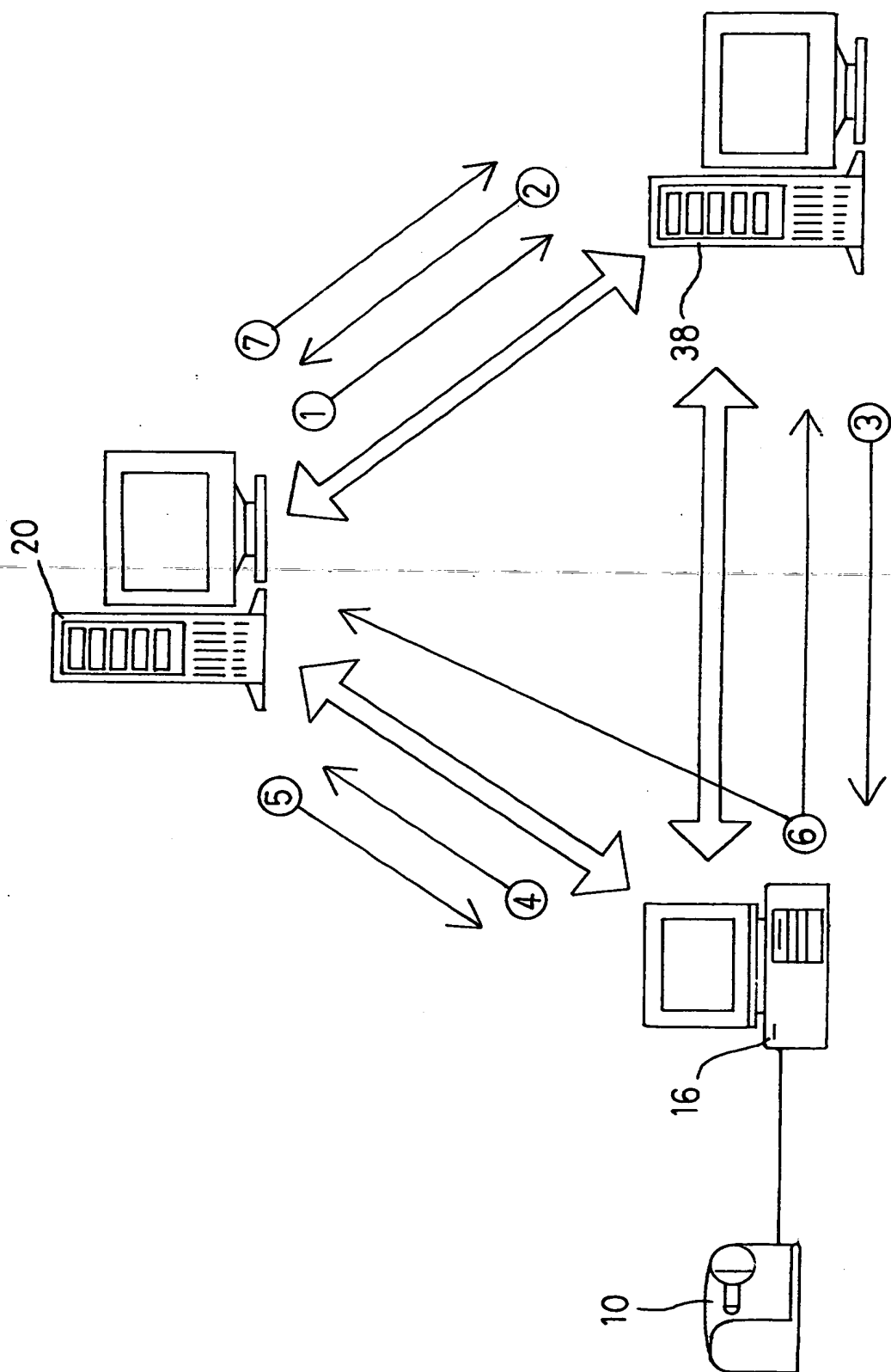
【図4】



【図 5】



【図6】



【図 7】

△	F.P. WORLD.WIDE	△
□	e-mail	□
	マイアルバム	
	写真公開	
	FOJIFILM	
	F.P.Camera	
	製品案内	
	ダウンロード	
	お知らせ	
	写真展案内	
	カスタマーサービス センター	
	e-Photo	
	e-School	
	music search	
▽	▽	▽

28

【図 8】

▲	F. P. WORLD. WIDE	▲
□	e-mail	□
	マイアルバム	
	写真公開	
	F0JIFILM	
	F. P. Camera	
	販売店A スペシャルメニュー	
	プリントサービス	
	製品案内	
	ダウンロード	
	お知らせ	
	写真展案内	
	カスタマーサービス センター	
	e-Photo	
	e-School	
	music search	
▽	▽	▽

28

29A

29B

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者側の通信機器の表示手段に、各種サービスの実施を指示するサービスボタン又はバナー広告の画像を容易にカスタマイズして表示する特定情報の表示方法を提供する。

【解決手段】 利用者側の通信機器が特定の識別情報を第1のサーバに対して送信する工程（図6中④）と、第1のサーバが前記受信した特定の識別情報に対応するサービスボタン又はバナー広告の画像を利用者側の通信機器に送信する工程と（図6中⑤）、利用者側の通信機器が前記画像データを受信する工程と、利用者側の通信機器が表示手段に表示されている画像ビューワ上に前記受信したサービスボタン又はバナー広告の画像を表示する工程とを含むようにしたので、画像ビューワ等のソフトウェアのカスタマイズを容易に且つ確実に実施することが可能となる。

【選択図】 図6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名 富士写真フイルム株式会社
